

# 令和5年度法人本部事業計画

社会福祉法人 武田塾

## 1. 基本理念

創設者武田慎治郎の思想

- 「共に在る」
  - ・子どもや利用者と共に在る
  - ・家族と共に在る
  - ・職員と共に在る
  - ・地域と共に在る
- 「家庭的なあたたかなふれ合い」
- 「すべての人に教育を」

## 2. 基本方針

- (1) 法人の各部門との連携・連絡、情報共有等を行いながら、全体的な企画立案や事業調整等による一体的な運営を図る。
- (2) 多様なツール活用した人材確保を展開するとともに、職員自らがキャリアアップを実感できる人材育成を推進する。
- (3) 職員の健康管理・増進や処遇改善を含む働きやすい職場環境づくりを進める。
- (4) 計画的な施設・設備整備と安定的な運営に向けた資金計画の策定等による経営基盤の充実を図る。
- (5) 法人創設100周年に向けたプロジェクトの推進と社会貢献を念頭に置いた地域活動の検討を進める。

## 3. 事業実施項目

### (1) 人材育成のための環境整備

利用者本位で質の高い支援を提供していく上で、職員の育成システムを構築する必要がある。

#### ①職員のキャリアアップのための育成プログラムの策定

- ・職歴、職階、役割等に適応したキャリアアップのためのプログラムを策定する。
- ・各施設、事業に必要な研修や資格の精査及び職員の受講や資格取得状況を把握し、計画的に受講、資格取得・更新ができる手立てを講じる。

## ②ジョブトレーナー制度の導入

- ・新採職員の育成を担当する職員を指定し、日常的な職場研修やフォローをすることにより、新採職員のスキルアップと定着を図るジョブトレーナー制度の導入を目指す。

## ③「未来塾」の継続

- ・職員自らの目標や役割を明確化することで主体的に事業推進できる人材を育てる。

## (2) 人材確保の戦略的取り組み

近年、福祉現場においては人材不足や確保の厳しさは増しており、法人の施設、事業所においても、より積極的な採用活動を行っていく必要がある。

### ①外国人労働者の受入れの検討

- ・紹介事業所より情報を得たうえで、受け入れに必要な体制や必要事項を洗い出し、受入れ施設のバックアップを含めて実現に向けた検討を行う。

### ②大学等からの積極的な実習生の受入れ

- ・職員が、大学や専門学校で法人の施設や事業所での養育、支援の実践内容を伝えたり PR する機会を得るなどにより、実習生のより積極的な受け入れと職員採用に繋げる。

### ③オンラインによる説明会、面接等の実施

- ・就職希望者が情報を得やすい方法を検討する。

### ④職員紹介制度の活用

- ・養育や支援の現場を実践し理解している職員から、就職希望者の紹介を受ける当制度を活用することで、より積極的な求人活動を展開する。

## (3) 働きやすい環境づくりの推進

職員の働く意欲の向上と職場定着を図るため、以下の項目について具体化を進める。

### ①人事・給料・昇格制度の検討

### ②ライフステージに応じた雇用形態、勤務形態の検討

### ③定年延長の検討

### ④福利厚生制度の充実

### ⑤職員顕彰制度の創設

#### (4) 経営健全化の推進

武田塾と高井田苑の建物は建築後 20 年以上が経過し、今後外壁修理等の大規模修繕が必要となっている。また、人材確保、育成、定着を図り将来的にも安定的な法人運営を行っていく上での、資金計画を策定する。

##### ①大規模修繕等、職員定数に連動した資金計画の策定

##### ②施設運営の省力化・効率化の推進

- ・電気代が高騰しており、施設運営に影響を及ぼしかねず、必要な用途を確保しながらも省力化、効率化を進めるための職員意識の醸成や具体的な取り組みについて検討する。

#### (5) 法人内連携の強化

児童養護施設、障害者支援施設等を運営していることは、当法人の特性でありそれを優位性としていくためには、職員が共通意識を持ってそれぞれの施設や事業の機能を相互に活かし、児童や利用者への支援の幅を広げていく必要がある。

##### ①退塾、障がい者の地域移行、地域の障がい者のショートステイ受入れ等における関係部門の連携

##### ②防災訓練の共同実施

#### (6) 給食部門の活用

##### ①塾のユニット化に伴う、給食の方法の検討、実施

- ・本年度の武田塾の食堂・厨房のユニット化に伴い、ユニットでの食事提供や栄養管理の在り方を含めた、給食部門の関わり方について検討する。
- ・地域のニーズに合わせた人材活用、サービス提供の検討

#### (7) 人権擁護と虐待防止

##### ①人権擁護と虐待防止

すべての職員が徹底した人権意識を持って人権擁護に必要な知識と支援方法を身に付けて業務に当たることができるよう環境整備、研修等を実施する。

#### (8) 地域福祉と社会貢献の推進

##### ①利用者、職員は地域社会の一員であり、施設は地域の社会資源の一つであることを自覚し、開かれた施設、地域に根差した施設を目指す。

## (9) 創立100周年プロジェクトの推進

創立100周年に向けて、法人の基本理念・運営指針を職員が共有し、未来志向に立った施設運営を実現するために、組織、職階、職種を超えた3つのプロジェクトチームを立ち上げ、以下のテーマに沿って検討を進める。

### ○プロジェクトH

テーマ「人にやさしい施設づくり」

施設整備・運営に関すること

### ○プロジェクトC

テーマ「地域との共生」

地域・地元への社会貢献の検討

### ○プロジェクトA

テーマ「創設者の思想と継承」

顕彰方法、記念誌の作成・イベントの実施、ロゴマークの作成等

テーマ「環境問題等への取り組み」

SDGsの推進、防災対策